

# 東奥日報

2018年(平成30年)9月6日木曜日 (16)



協定書を手笑顔で握手を交わす浜谷町長(左)と長谷川学長

## 階上町 × 八工大 地域振興で連携協定

### 人材育成など課題解決へ

階上

階上町と八戸工業大学(八戸市)は5日、地域発展へ相互協力する連携協定

を締結した。防災や減災、産業振興、人材育成など幅広い分野で連携し、地域が抱える課題の解決を図る。同大学は隣接する同町と

関係が深く、今年5月にオープンした海産物産直施設「はしかみハマの駅」がある。この施設は同大学の学生が制作した。また町の各種審議会委員を同大教員らが務めるなどしている。

協定は両者の連携を一層強固にし、町の課題解決や施策立案に同大の知見を生かしていく。具体的な連携事業は今後詰めるが、既に町名産のソバ「階上早生」が今年、命名100年を迎えたことを祝うポスターの制作に同大が取り組んでおり、月内完成予定という。

町役場で行われた調印式には浜谷豊美町長と長谷川明学長が出席。署名した協定書を交換し握手を交わした。取材に浜谷町長は「八工大が持つ知見や若い感性を、少子高齢化が進む地域の暮らしやすい創造に生かしたい」と期待。長谷川学長も「老朽化するインフラの補修といった地域の課題解決へ向け、行政と大学のコラボが重要になる」と意欲を示した。(若松清巳)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」